

ハイレスポンスユニット エボリューション (Eコンパクト用) 取り扱い説明書

従来のハイレスポンスユニットと違い、デジタル制御（IC）でピストンコントロールや、モーター制御・電圧管理などを自動で行います。
組み込みにあたり以下の注意事項をよくお読みください。

新搭載の機能

IC制御による新機能

- 1,モーターへの電圧コントロール
- 2,ピストン停止位置の電子的制御
- 3,モーターアクティブブレーキの制御

ICチップ搭載で上記機能をデジタルで制御することで確実に動作することが可能です。バッテリーやモーターの状態をIC制御で一定に保つことも可能となりました。

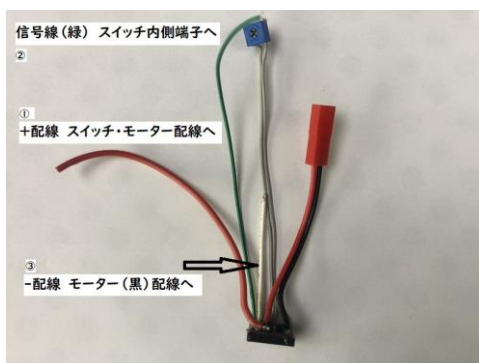
【組み込み方法スコープオン編】

基本的な組み込みの際の配線の繋ぎ方は、従来のハイレスポンスユニットと替わりません。下記の写真のように繋いで下さい。

※接続箇所を間違えると、ユニット内にてショートしてしまいユニット自体を破損させてしまいますのでご注意ください。

ユニットの取り付け方法

MP7・スコープオン（Vz61・MOD）・MAC10それぞれ格納箇所・接続方法が違います。



ユニット各配線の種類

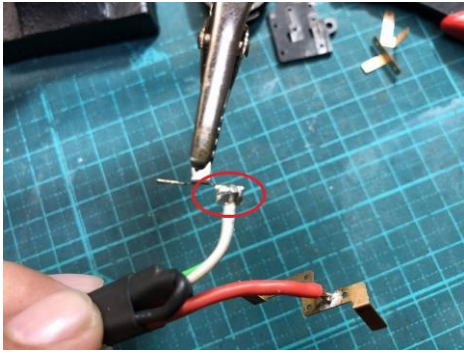
- ①+配線 本体スイッチ側へ行く配線です。
 - ②信号線 本体スイッチ側へ行く配線です。
 - ③-配線 本体モーター配線（黒）へ接続します。
- その他の配線はダイヤル配線・バッテリーコネクターとなります。

配線の接続方法（スコープオン編）

- 1：バッテリーハウジング分解後、左記の端子を取り出します
 - 2：L字の端子にユニット側モーター（+線）配線を接続します
 - 3：銀色端子の右側にユニット側モーター（-）配線を接続
 - 4：信号線（緑細線）をスイッチ端子へ接続
- 分解・組み立て詳細は当ミリタリーブログをご参照ください。

※同封してある黒い伸縮チューブでカバーをして下さい。
※各配線は、銃本体の個体差を吸収するため長めにしてありますので、取り付けの際は適時調整して下さい。





配線の接続方法（スコーピオン編）

- 1：バッテリーハウジング分解後、左記の端子を取り出します
- 2：L字の端子にモーター（+線）配線を接続します
- 3：銀色端子の右側にモーター（-）配線を接続
- 4：信号線（緑細線）をスイッチ端子へ接続

分解・組み立て詳細は当ミリタリーブログをご参照ください。



※各配線は、銃本体の個体差を吸収するため長めにして有りますので、取り付けの際は適時調整して下さい。

プリッキング調整方法

左記にあるダイヤルで調整いたします。

時計と反対回しでピストン解放

時計回しでピストンを後退させるようになります。

解放状態からプリッキングを調整する際は、ダイヤルを少しずつ回し、動かすたびに空撃ちをセミオートで数発行ってください。

回し過ぎでバーストを起こしてしまった場合は、ダイヤルを大幅に戻して頂き再度調整をし直してください。

ギリギリに調整しすぎると、使用中にバーストを起こすこともございますので、ピストン位置は少し余裕をもって調整してください。

※調整の際は必ずードライバーをご使用ください。



注意・免責事項

①本製品の取る付けには最低限の技術が必要です。取り付けに自信の無い方は専門のSHOP等へご依頼下さい。

②本製品の取り付けの不備等で起こる故障・破損に関しましては、一切保障されませんのでご注意下さい。

③本製品は、電動ハンドガン用として設計・製作されておりますので、その他の銃には使用できません。使用出来るバッテリーはLipoバッテリー7.4V1,100ma程度まで、その他のバッテリー等は使用出来ませんのでご注意下さい。

④本製品の初期不良は、新品交換等に対応させていただきますので下記へご連絡ください。

※物理的破損や分解行為があるものは、初期不良であっても交換対応できませんのでご注意ください。

⑤使用期間が長い銃の場合、スイッチやモーターが原因でユニットが破損する恐れが御座いますのでご注意ください。※ブラシが削れているモーターの場合、組み込み前に交換を推奨いたします。

企画・制作

株式会社taap

問い合わせ先：info@taap.jp

〒352-0014埼玉県新座市栄4-6-19

TEL：048-485-9082